2025年２月期

決算説明資料

2025年４月11日

株式会社イートアンドホールディングス

（証券コード：2882）

2025年２月期の業績サマリ

Eat& Holdings

● 外食事業　既存店売上高の回復による増収増益

- 外食事業は、各業態の**既存店売上が着実に回復**。
  「大阪王将」において**セントラルキッチン（CK）活用と調理ロボ導入**により、
  店舗拡大の基盤を構築。
  「R Baker」でも、**CKを起点としたヒット商品の開発と展開**へ取り組む。
- 大阪王将創業55周年、**新モデル店展開**と**メニューブラッシュアップ**により**ブランディング強化**。

● 食品事業　水餃子認知・売上拡大に伴い、冷凍餃子カテゴリー首位

- 食品事業は、冷凍食品市場（中華カテゴリー）は堅調に伸長。
  通期の製造量は、37,867ﾄﾝ（前期比99.9%）と前期並みに回復。
- 冷凍庫棟稼働により物流体制の強化および低コスト運営の両立へ。
- 世代を超えて人気のあるタレントが出演するCMで、新規客開拓。
- 西日本生産拠点として**宮崎県都城市に九州工場建設、2026年冬稼働予定**。
  経産省**「大規模成長投資補助金」交付**により事業の更なる拡大を目指す。

● 海外展開の状況

- 海外事業は、**台湾において、外食事業・食品事業ともに躍進**。
- 米国での外食事業展開へ向けて三菱食品㈱と合弁会社設立、
  2025年秋に1号店出店を目指す。

目次

1. 2025年２月期 連結決算
   - ・バランスシートの状況（連結）
   - ・損益の状況（連結）
   - ・2026年２月期 業績予想（連結）
   - ・2026年２月期 配当予想
2. 実施施策と今後の取り組み
   - ・食品事業
   - ・外食事業
   - ・海外事業
   - ・EC事業
   - ・サステナビリティ
3. イートアンドグループの概要

１．2025年２月期　連結決算

バランスシートの状況（連結）

（単位：百万円）		2024年 ２月末現在	2025年 ２月末現在	備考
資産の部		25,597	29,151	
	流動資産	11,364	12,240	売掛金、商品及び製品の増加
	固定資産	14,233	16,911	工場投資、外食事業_新規出店投資
負債の部		15,420	18,200	
	流動負債	10,953	13,357	短期借入金、未払金の増加
	固定負債	4,467	4,843	長期借入金の増加
純資産の部		10,177	10,951	

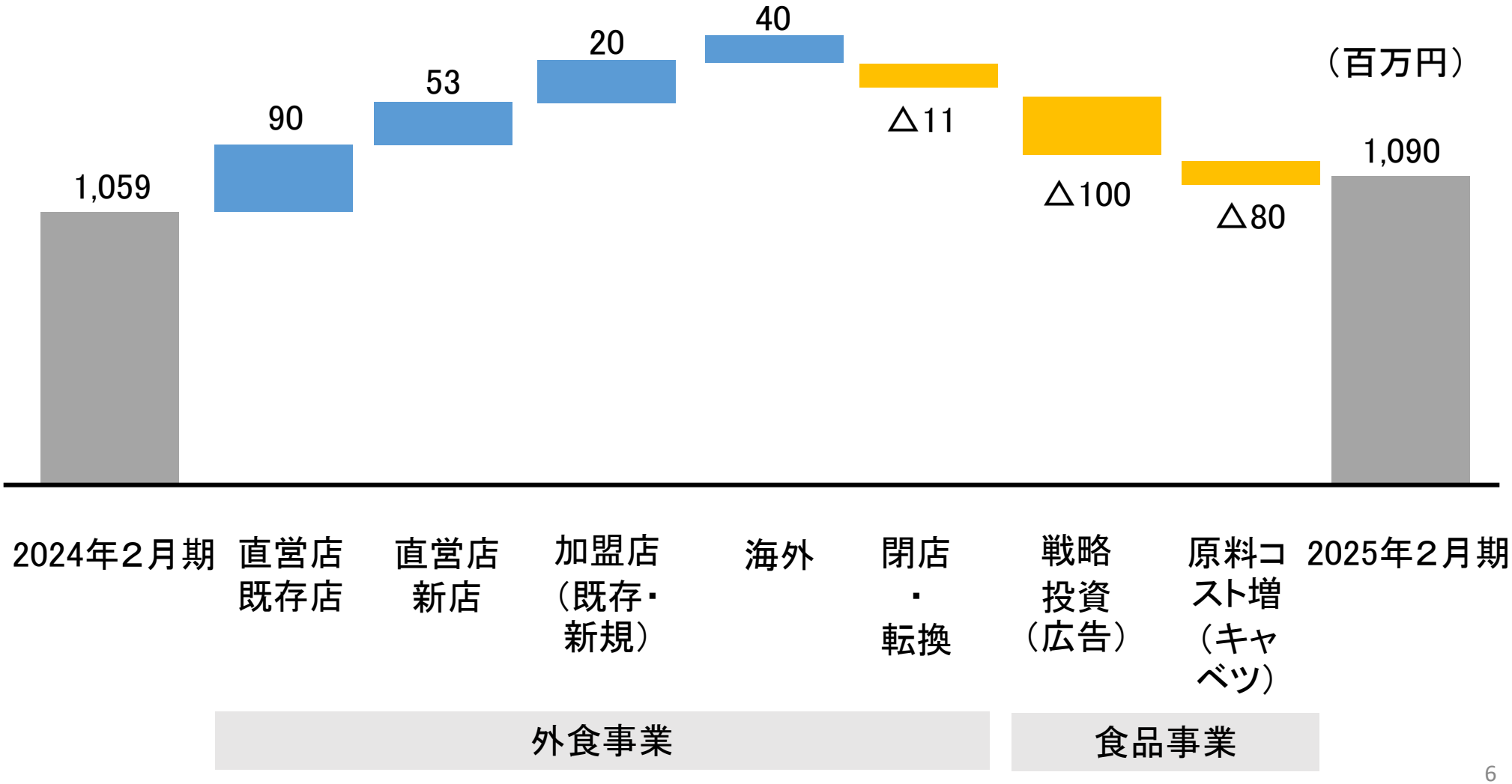
損益の状況（連結）

（単位：百万円）		2024年２月期	2025年２月期	前期比
売上高		35,922	37,335	103.9%
	食品(構成比)	21,433(59.7%)	21,452(57.5%)	100.1%
	外食(構成比)	14,488(40.3%)	15,882(42.5%)	109.6%
売上総利益		14,326	15,567	108.7%
販売費及び一般管理費		13,266	14,476	109.1%
営業利益		1,059	1,090	102.9%
	営業利益率	3.0%	2.9%	△0.1pt
経常利益		1,068	987	92.4%
親会社株主に帰属する当期純利益		△106	※ 888	―

※2025年2月期は出火に伴う受取保険金（特別利益）1,606百万円、固定資産圧縮損（特別損失）910百万円を計上

損益の状況（連結） 営業利益

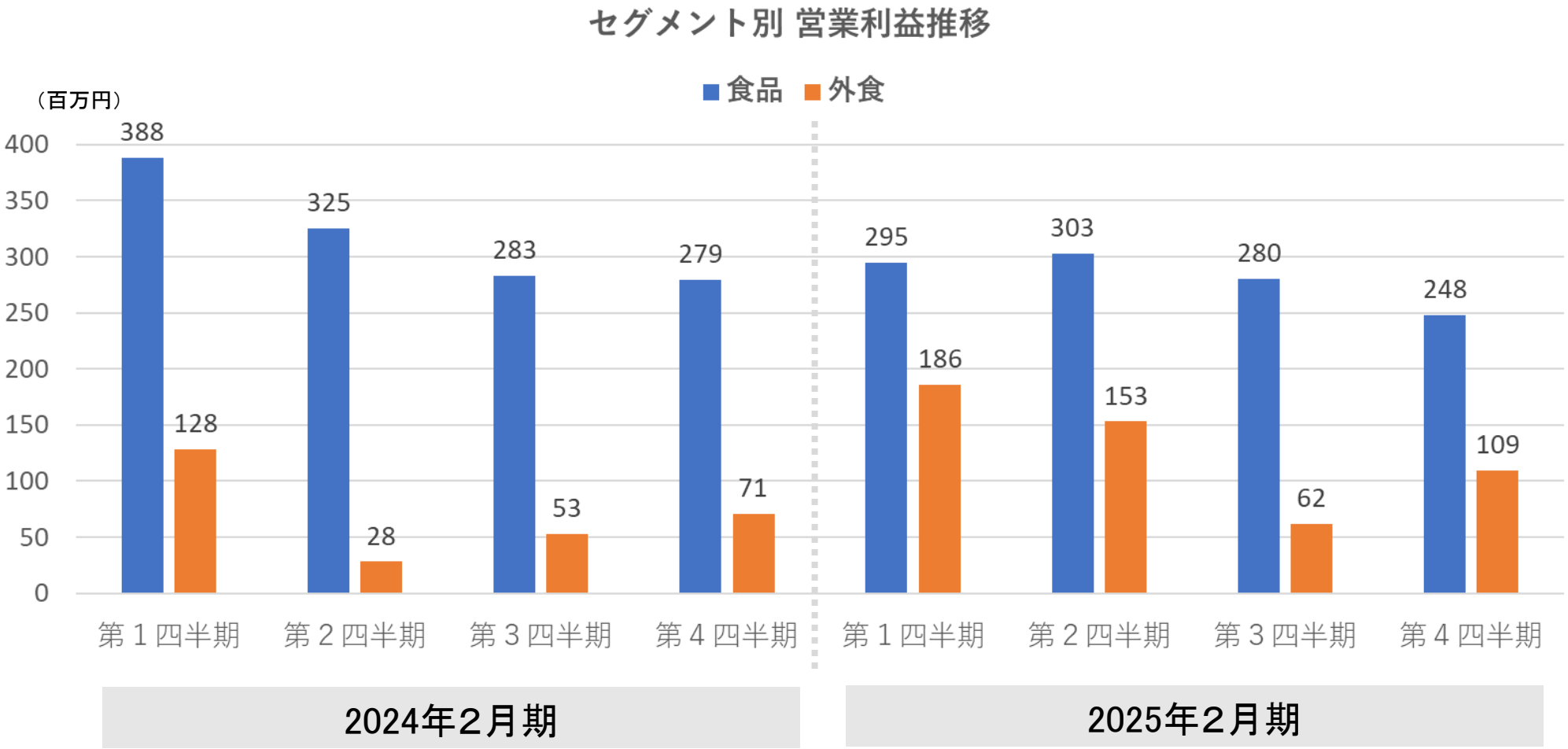
- 外食事業　既存店回復、新店寄与による利益回復
- 食品事業　戦略投資（広告宣伝）　全国CMの出稿



損益の状況（セグメント別）

（単位：百万円）		2024年2月期	2025年2月期	前期比
食品	売上高	21,433	21,452	100.1%
	セグメント利益	1,275	1,126	88.3%
	利益率	6.0%	5.3%	△0.7pt
外食	売上高	14,488	15,882	109.6%
	セグメント利益	280	510	182.2%
	利益率	1.9%	3.2%	+1.3pt
調整額	セグメント利益	△495	△545	―

損益の状況（セグメント別利益推移）



2026年２月期 業績予想（連結）

Eat& Holdings

- 売上高　　食品事業　自社製造量の回復と連動し販売拡大を計画
　　外食事業　グループ店舗数純増＋31店舗を計画
- 営業利益　　原材料（キャベツ、米、畜肉等）の価格上昇、北米への投資を織り込み
- 当期純利益　前期（2025年２月期）関東第一工場の出火に伴う特別利益の影響

（単位：百万円）	第２四半期予想（累計）	前期比	通期予想	前期比
売上高	19,000	105.8%	40,000	107.1%
営業利益	400	59.8%	1,200	110.0%
経常利益	375	56.4%	1,150	116.5%
当期純利益	146	17.6%	525	59.1%

2026年２月期 業績予想（セグメント別）

Eat& Holdings

- 食品事業　関東第一工場の完全復旧による製造量回復、販売拡大を計画
  原材料価格の価格上昇を第２四半期予想に織り込み
- 外食事業　2026年２月期グループ店舗数は500店舗を計画し、店舗数増による計画
  北米への投資を第２四半期予想に織り込み

（単位：百万円）		第２四半期予想（累計）	前期比	通期予想	前期比
食品	売上高	10,803	106.0%	22,900	106.7%
	セグメント利益	460	76.9%	1,244	110.5%
外食	売上高	8,197	105.6%	17,100	107.7%
	セグメント利益	258	76.1%	624	122.4%
調整	セグメント利益	△318	―	△668	―

2026年２月期 配当予想

- 2026年２月期の年間配当金は、**１株当たり15.00円**を予定
- 前年に実施した記念配当を**普通配当に織り込む**

項目	第２四半期	期末	合計	配当性向
2026年２月期 配当金予想	7.50円	7.50円	15.00円	32.40%
前年実績 配当金	7.50円 （普通配当　5.00円） （記念配当　2.50円）	8.00円 （普通配当　5.00円） （記念配当　3.00円）	15.50円 （普通配当　10.00円） （記念配当　5.50円）	19.78%

食品事業

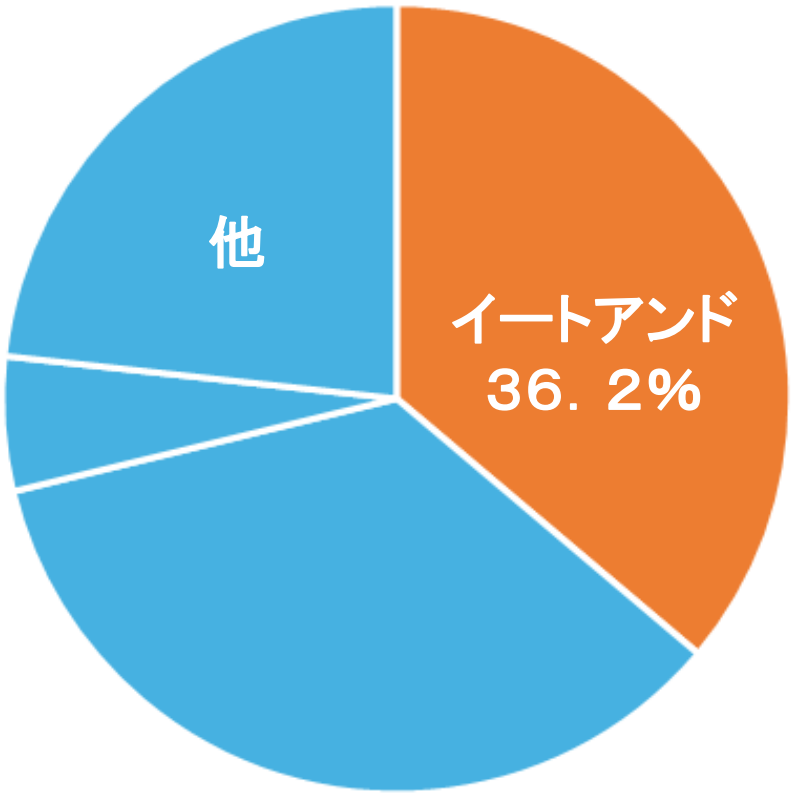
実施施策

食品事業／冷凍餃子のシェア

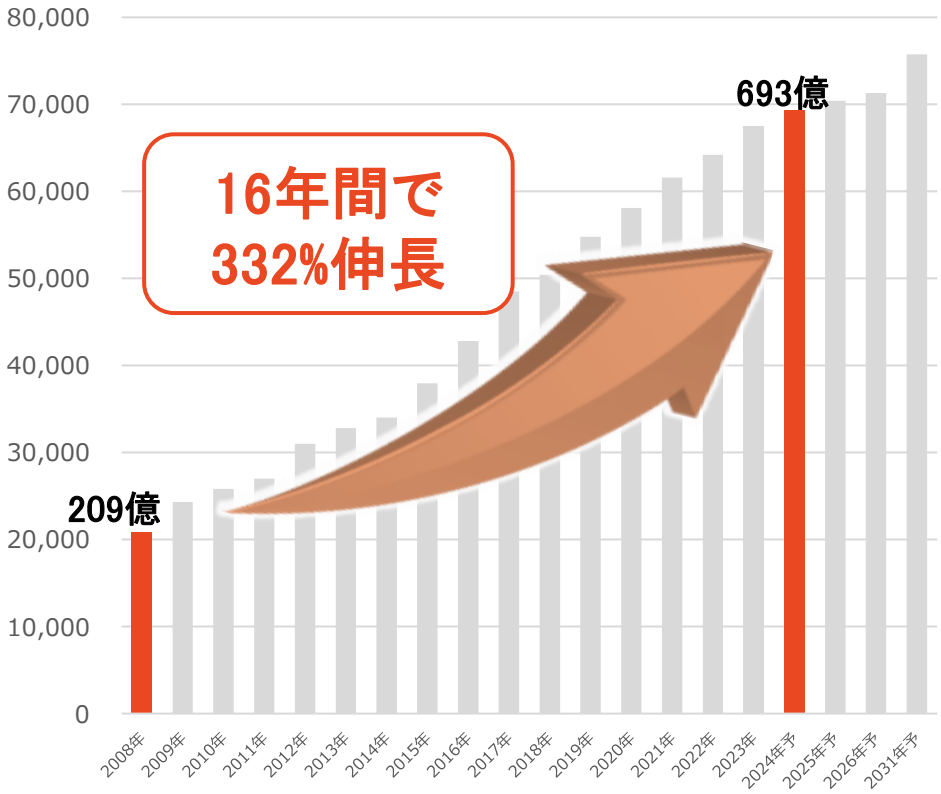
Eat& Holdings

冷凍餃子カテゴリーにおいて高シェア維持、**2年連続首位**。
冷凍餃子の市場は年々規模を拡大。

冷凍餃子のシェア



冷凍餃子の市場規模



※インテージSCI(15-79歳) 冷凍焼き餃子、水餃子市場 購買金額シェア
2024年3月～2025年2月 購入ルート：SM、DRG、DS

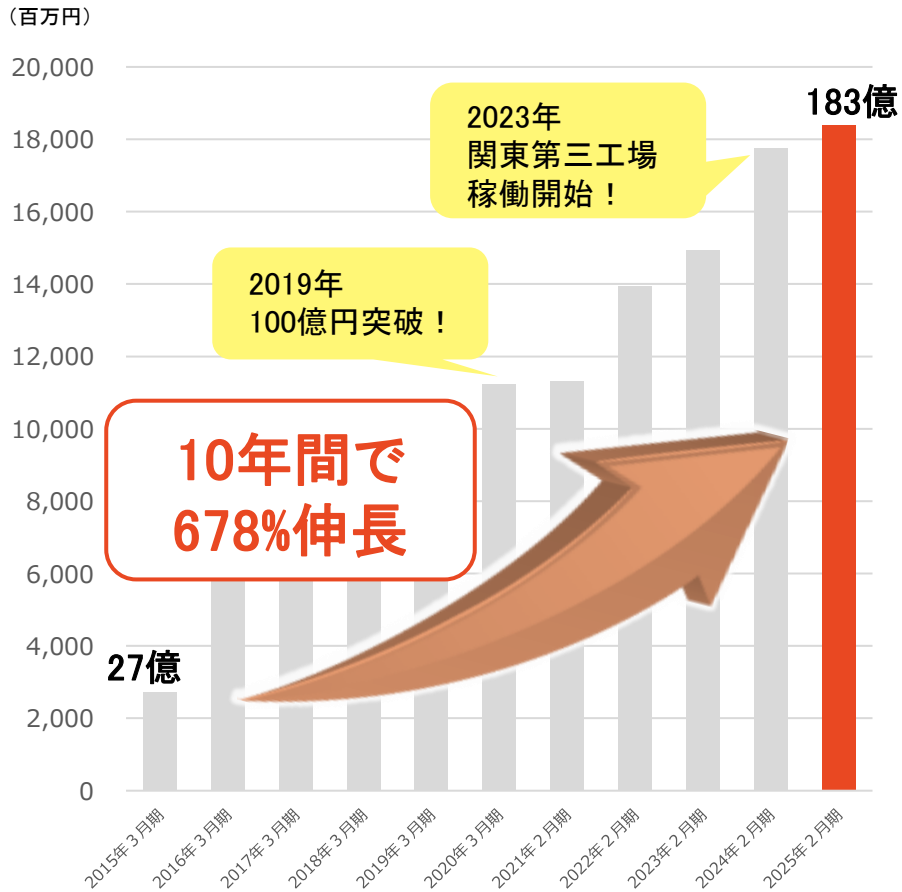
※富士経済「2025年食品マーケティング便覧」

食品事業／羽根つき餃子の躍進

Eat& Holdings

通期の羽根つき餃子シリーズ全体の売上は**約183億円**。
羽根つき餃子単品では、**約136億円**。

羽根つき餃子シリーズ売上



2024年９月１日より「焼き餃子カテゴリー」の価格改定（５～15%）を実施し収益改善。

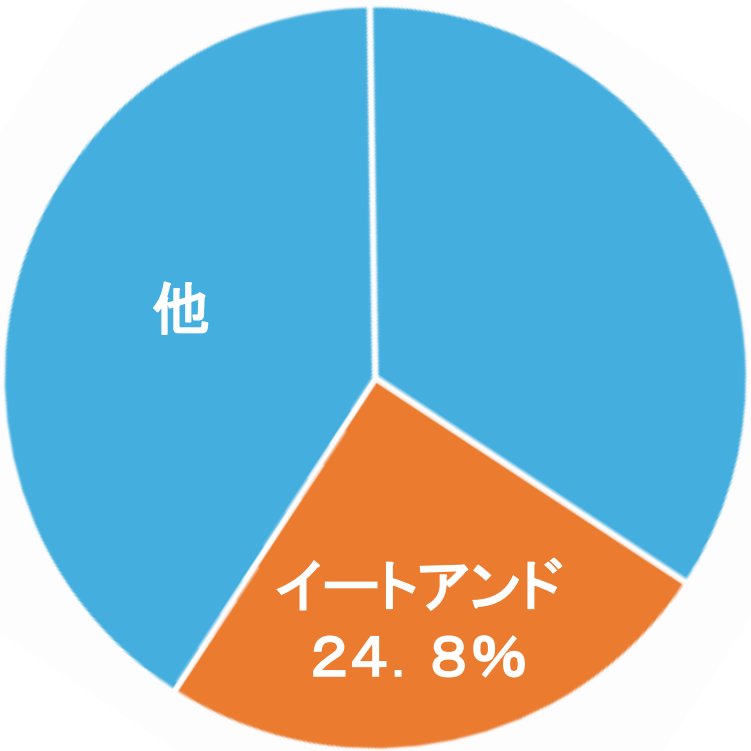
※年間の商品別出荷実績に市場での販売価格で売上を乗じて算出
※2021年2月期は決算月変更に伴い11カ月実績

食品事業／市場の拡大

Eat& Holdings

中華カテゴリー市場におけるシェアは**第2位（24.8%）**。
手軽に本格的な味が楽しめる中華カテゴリーは堅実に伸長。

中華カテゴリーにおける自社シェア



※インテージSCI(15-79歳)平均購入規規模(×100)金額
2024年3月～2025年2月　購入ルート：SM、DS、DRG

冷凍調理のカテゴリ別伸長率

カテゴリー	前期比	21年度比
冷凍調理品	107.1%	122.3%
麺	107.3%	128.5%
弁当品	104.5%	125.5%
スナック	106.0%	122.2%
中華	103.4%	118.8%
食卓総菜	102.8%	117.9%
パスタ	110.4%	117.7%
米飯	108.2%	112.3%
その他	123.8%	148.4%

インテージSCI（15~79歳）平均購入規規模(×100)金額
期間：2020年3月～2025年2月
購入ルート：SM、DS、DGS
※中華＝焼き餃子、シュウマイ、春巻、水餃子、冷やし中華、小籠包、ビーフン、中華惣菜、エビチリ

食品事業／2025年春夏家庭用商品一覧

Eat& Holdings

2025年春夏は、新商品7品、リニューアル8品。

餃　子

おかず・スナック・麺・点心

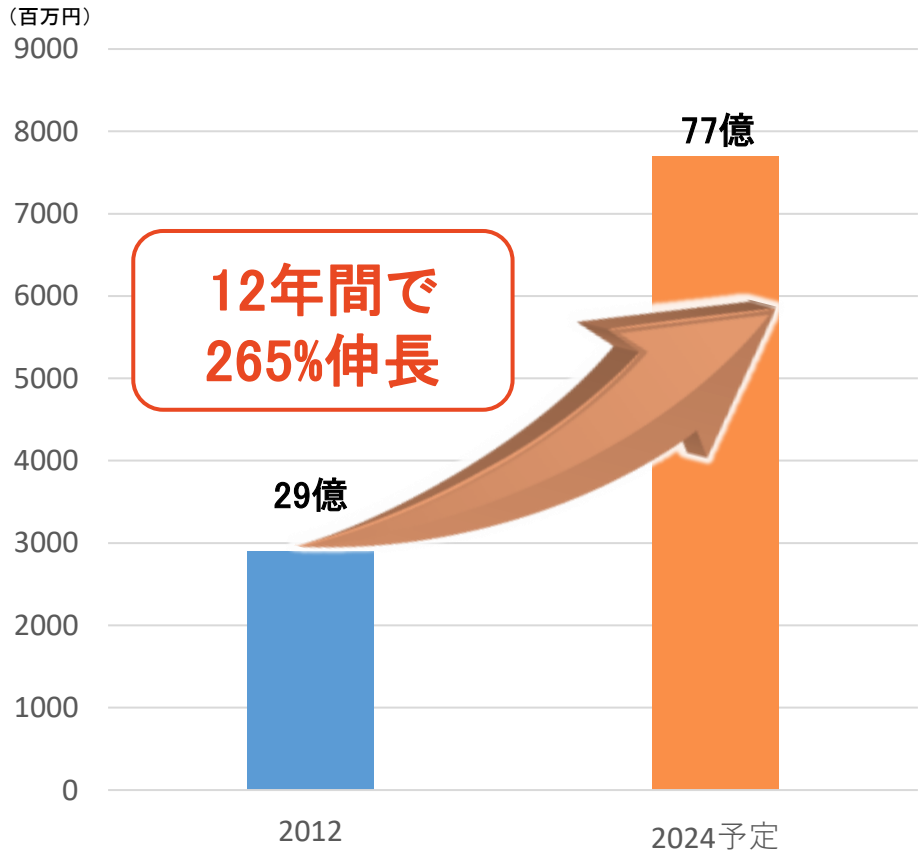
炒飯・丼

食品事業／水餃子市場の拡大に向けて

Eat& Holdings

水餃子市場は265%伸長。
「ぷるもち水餃子」シェアは2013年から11年連続1位。

冷凍水餃子の市場規模



※富士経済「2025年食品マーケティング便覧」

新タレントによる全国TVCMの効果もあり、
単月シェア7割を超えたのは、2020年6月以来。
2024年11月単月の出荷数は、約320万パック。
（15粒換算）前期比132.5%を達成。

２月より、レンジ調理でもちもち食感を実現できるようにリニューアル。

食品事業／スピード感のある商品開発力

Eat& Holdings

消費者の志向に敏感に、期待以上の価値を目指した新商品を開発。

大阪王将初！機能性表示食品

タイパ・コスパ

毎日の食卓で手軽に美肌ケア。
大阪王将初！機能性表示食品
『ぷるもち水餃子GABA＋』。
健康と美容を意識した成分を取り入れ、
美味しく手軽に食べられる
新しい水餃子の販売開始。

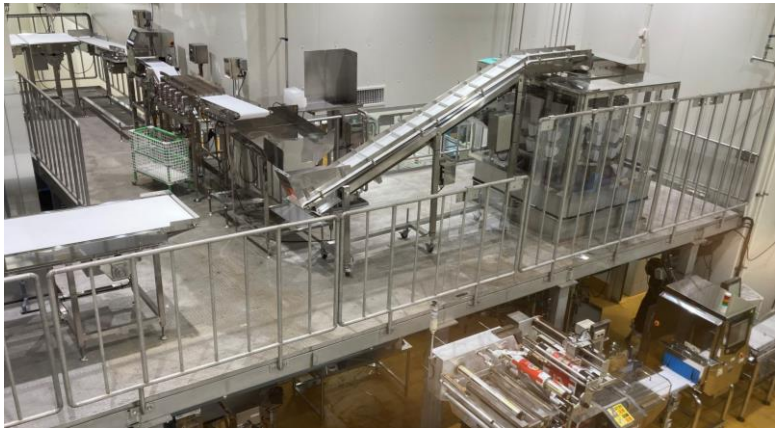
並べる手間いらずの『神焼き羽根つき餃子』。
12粒約5分で完成。ひとロサイズで
パクパク食べられ、メインからサブ、
お弁当にと、幅広く使える
『クリスピーひとくち餃子』は、
社内のアイデア公募から生まれた新商品。

食品事業／関東第一工場製造復旧

Eat& Holdings

生産ラインに新技術を積極的に導入し、2025年4月完全復旧。働きやすい工場環境で、自社製造品拡充を目指す。

省人化した新ライン



生産ラインが完全復旧。

工場内に自社・他社の冷凍食品が並ぶカフェテリアを新設。従業員へ豊かな食事の提供と、冷凍食品の素晴らしさを知る場として提供。

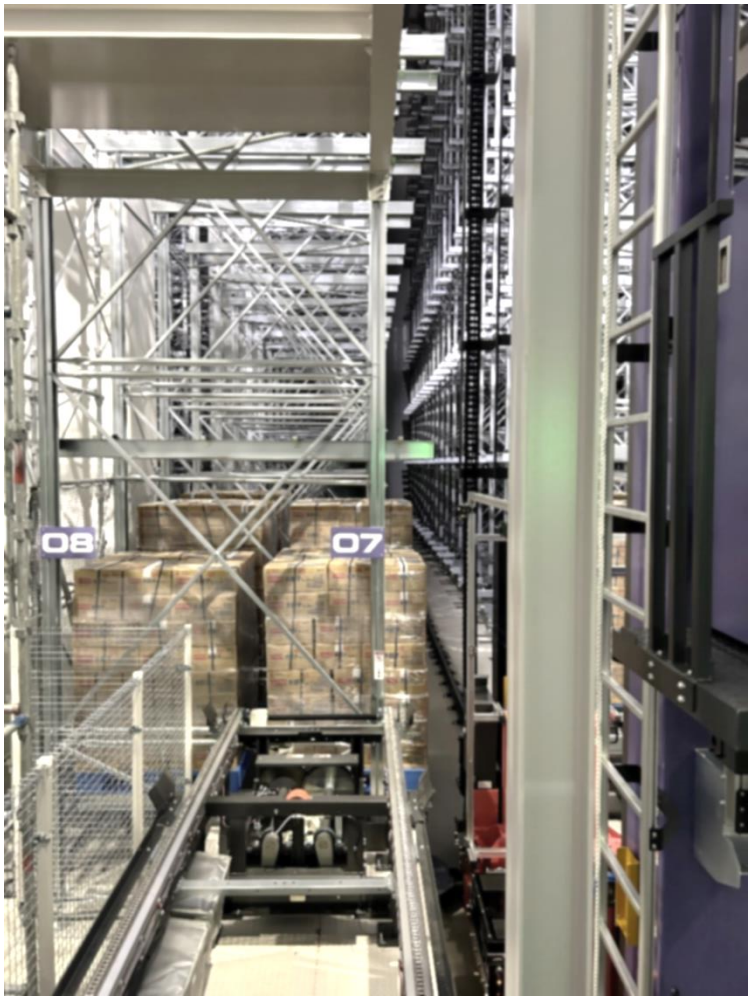
プレートラインの導入

復旧に伴いワンプレート商品の新ラインを導入。
外食のノウハウを活かした商品作り。
自家製餡の製造など**自社製造品の拡充を目指す**。

「肉ニラ玉あんかけ炒飯」が、フローズンアワードワンプレート部門第1位受賞。

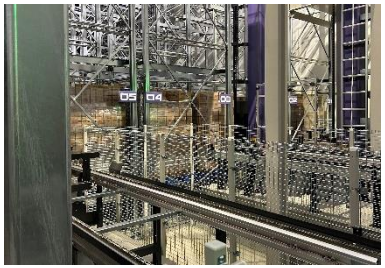
Eat& Holdings

冷凍庫棟「関東 Logistics Base（KLB）」が2024年９月より稼働



物流拠点「関東 Logistics Base」

関東工場全体で収容能力は約5,000パレット
（『羽根つき餃子』約800万パック　※約1ヵ月分）。
100%省エネ型自然冷媒の冷凍冷蔵設備。
2024年問題などの社会課題解決、
安定供給を目指す。



食品事業

今後の取り組み

食品事業／新工場、大規模成長投資

主力商品の需要増加に対応、西日本エリアの生産体制強化。

所在地	宮崎県都城市高城町
着工予定年月	2025年８月予定
竣工予定年月	2026年12月予定
敷地面積	8,259.88㎡
延べ床面積	7,839.00㎡
投資総額	6,606百万円（建物・設備）
補助金額	2,084百万円
資金計画	大規模成長投資による資金補助、自己資金および借入金により充当見込（詳細は未定）
主な製造商品	羽根つき餃子 羽根つきスタミナ肉餃子 ぷるもち水餃子
生産能力	約1,300t/月　※操業時点

新工場（九州工場）の概要

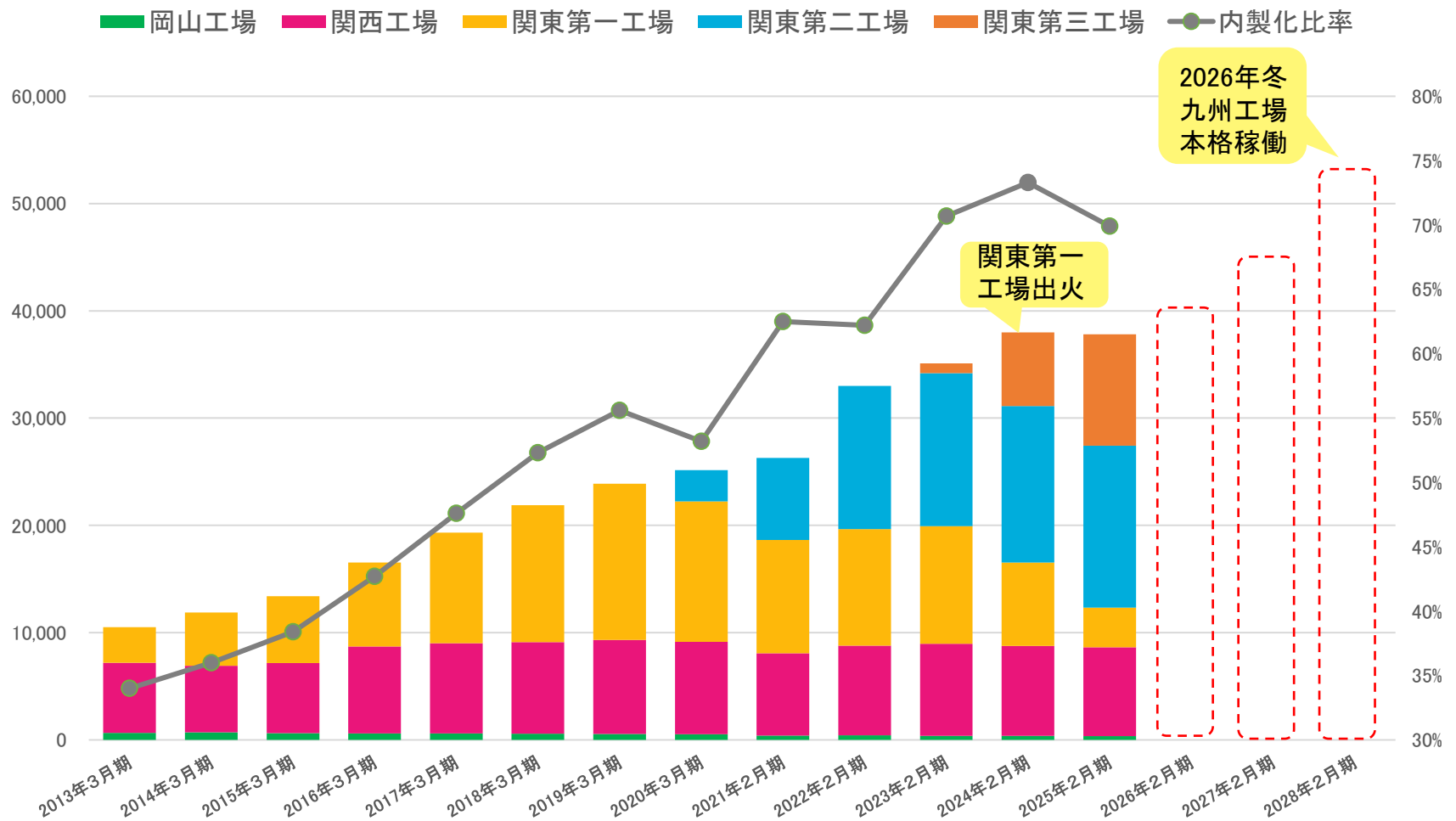
餃子の主原料であるキャベツや豚肉の生産地である宮崎県。
西日本エリアへの供給対応、サプライチェーンの効率化へ。

食品事業／製造数減少による供給不足

Eat& Holdings

通期の生産量は37,867トン（前期比99.7%）。
関東第一工場復旧により2026年２月期は40,000トン(前期比105.6%)を計画。

工場生産量・内製化比率　推移



※2021年２月期は決算月変更に伴い11カ月実績

外食事業

実施施策

外食事業／出退店概況

Eat& Holdings

2026年2月期末のグループ店舗数は**約500店舗**を計画。

（単位：店舗）		2024年2月末 店舗数			2025年2月期（累計） 出店数			2025年2月期（累計） 退店数			2025年2月末 店舗数		
		直営	加盟	全店	直営	加盟	全店	直営	加盟	全店	直営	加盟	全店
国内	大阪王将	43	294	337	13	14	27	6	9	15	50	299	349
	ラーメン	14	10	24	1	0	1	0	0	0	15	10	25
	ベーカリー・カフェ	20	12	32	3	10	13	2	1	3	21	21	42
	一品香	9	2	11	0	0	0	0	0	0	9	2	11
	その他業態	7	3	10	0	0	0	0	1	1	7	2	9
海外		8	20	28	2	8	10	2	3	5	8	25	33
グループ計		**101**	**341**	**442**	**19**	**32**	**51**	**10**	**14**	**24**	**110**	**359**	**469**

※出店・退店数には、直営店から加盟店へ運営形態を変更した6店舗、加盟店から直営店へ運営形態を変更した2店舗をそれぞれ カウントしております。

外食事業／新モデル店舗

Eat& Holdings

ひとりでも、子連れにも、ちょうどいい店舗として新規客を開拓。
ハーフサイズメニューの展開等で客単価アップ。

創業55周年新モデル店舗

ハーフサイズや新メニューの展開など
新規客へアプローチ。
女性客も入りやすいデザインで、
家族連れでにぎわう店内に。

調理ロボ、床の自動洗浄、タッチパネルオーダーなどDX化を推進。

CK活用とDX化、海外人材の活躍

セントラルキッチン（CK）（埼玉・大阪王将）からの供給店舗数は50店舗超。
餃子の成型をはじめ、唐揚げの下味、煮豚の製造など、食材の仕込みを行う。
調理ロボは、2025年３月末時点で17店舗導入。
店舗では働く人材の多様化が広がる。
これにより、新モデル店舗では客単価アップ、人時生産性が5,000円超。

店舗形態に合わせて、冷凍生地・冷凍パンを セントラルキッチン（CK）（山梨・ベーカリー）から出荷。

CK（山梨・ベーカリー）概要

CKで主にパン生地製造を担い、
店舗では焼成、販売に注力。
ヒット商品『のびーるクロワッサン（のびクロ）』は、
CKにて毎日約5,000個製造、
焼成前の状態で全国の店舗へ出荷。
クロワッサンは、特に製造に手間がかかるため、
店舗での製造作業の負担が軽減。

外食事業／R Baker新モデル展開

Eat& Holdings

セントラルキッチン（CK）を活用し、フランチャイズ新モデル、小規模店舗など新しいビジネスモデルの展開へ。

2025年注目のスイーツ“あげどら”

2025年の注目スイーツ“ネオ和菓子”。
新感覚スイーツ
『あげどら』を開発。
冷凍生地が届いて製造する
職人レスの業態として、
メディアでも多数紹介。

高級食パン専門店をリモデル

職人技術はそのまま、クロワッサンや
その他のパンをCKで製造し、
店舗へ配送。
常時約20種類のパンが並び、
売上は以前の5倍程度に。
関東に2店舗（本八幡、西荻窪）展開。

行列の絶えない町中華「萬龍」、龍シリーズは4店舗展開。

町中華の躍進

『肉玉炒飯』で近隣のビジネスマンや
学生に人気の町中華「萬龍」。
エンターテインメント空間で、ボリューム
のある王道メニューと、お酒を楽しめる店。

東京ドーム フードホール内の飲食店
全11店舗中月間売上1位を誇る、人気店。

外食事業／ラーメン事業の展開

2025年１月に創業70周年を迎えた横濱たんめん発祥の店・「横濱一品香」。

“麺菜茶寮”ブランドアップデート

“100年続く横濱たんめん”を目指して、
伝統の味を引継ぎつつ、ブラッシュアップ。
“麺菜茶寮”として点心と甘味メニュー拡大。
ブランドアップデートに取り組み、
店舗の設えも新たな新店舗を展開予定。

外食事業

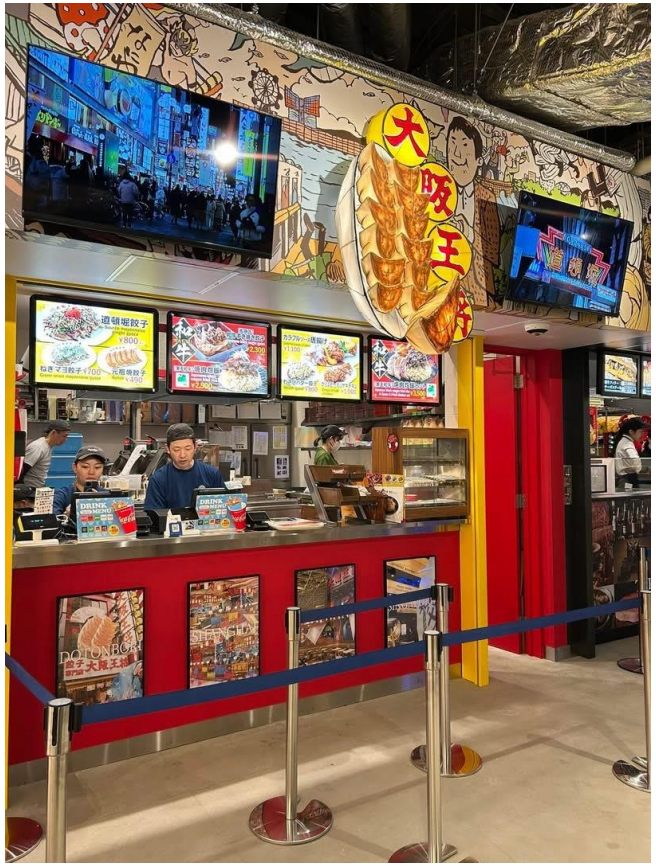
今後の取り組み

外食事業／大阪・関西万博出展、世界へ発信

Eat& Holdings

大阪・関西万博で、道頓堀商店会の銘店13店舗が集結したフードコート「大阪のれんめぐり～食と祭EXPO～」に出店。

大阪産食材の特別メニューも



外食事業／大阪王将定番品ブラッシュアップ

Eat& Holdings

創業55周年“めっちゃええやん”をキーワードに、49期年間で
売上上位20品目の素材と調理工程を見直し、ブラッシュアップ予定。

メニューブラッシュアップ

外食事業／おいしい＋ワクワク体験の新業態の展開

Eat& Holdings

新ブランド「バーバーパーラー」を2025年３月札幌にオープン。
地域食材、フォトジェニックなビジュアルで海外展開も視野に。

北海道新ブランド「バーバーパーラー」

外食事業／R Baker旗艦店オープン

R Bakerうめきたグリーンプレイス店が2025年３月オープン。
雑穀、もち米、国産米粉を使用、古木や自然素材を多用した設え。

R Baker最大規模の旗艦店

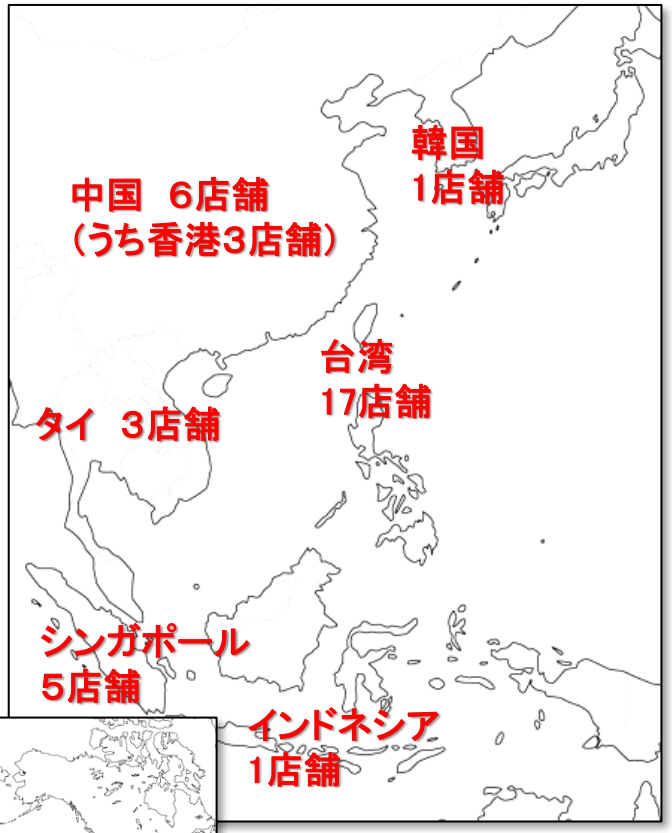
海外事業

実施施策と今後の取り組み

海外事業／各国で出店拡大

Eat& Holdings

海外への出店拡大、北米では合弁会社を設立。
7拠点33店舗を展開。



北米に合弁会社設立、
出店予定

話題のブランドとして各国に出店

「太陽のトマト麺」は、
現地パートナーとともに
2025年４月に韓国へ出店。
「くまちゃん温泉」は、
シンガポールに3店舗展開。
海外では全5店舗に。

海外事業／台湾における両輪事業

Eat& Holdings

冷凍餃子が現地セブン-イレブンで高い人気。
三井林口アウトレットパーク店をはじめ店舗は連日満席。

外食店舗

冷凍餃子

三井林口
アウトレットパーク店では、
台北中心地や
空港からも近く、
平日も賑わう。

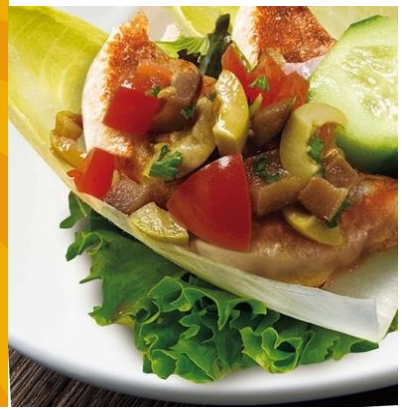
台湾国内で**約1,200店舗を展開する**
全聯福利中心(Pxmart)
にて冷凍餃子の販売。
セブン-イレブン約6,000店舗では
冷凍商品の中でも人気商品に。
今後も商品バリエーションを
拡大予定。

外食事業／海外で新業態の展開

タウン誌で“読者が選ぶ札幌グルメNo.1”に何度も選ばれたことのある肉バル「サッポロボーン」が、2025年３月台湾に上陸。

ローストビーフ専門店「サッポロボーン」

出店に向けたブランドのローカライゼーション



大阪王将ブランド出店に向けて

2025年秋の出店に向けて、
メニュー考案、ブランドのローカライゼーション。

冷凍餃子の北米への輸出も
2025年夏に開始予定。
北米における両輪経営の基盤作りに着手。

EC事業

実施施策

EC事業／エンターテイメント性の高い企画が話題に

Eat& Holdings

大阪王将公式通販では、お買い物がより楽しくなる企画が好評。
eギフトサービスや365日配送対応を導入、販売チャネル拡大へ。

エンターテイメント企画

賞品がランダムで当たる福袋、
50人に1人全額キャッシュバック、
SNSと連動した投票企画などで
お買い物をより楽しく。

eギフトサービス、365日配送

送り先の住所がわからなくても
ギフトが贈れるeギフトサービスを導入し、
販売チャネル拡大へ。
またニーズが高まる翌日配送に順次対応。

サステナビリティ

サステナビリティ／食を提供する企業として

Eat& Holdings

持続可能な社会に向けて、グループ全体で取り組んでいます。

食品ロス削減

食品ロスのない未来へ。
キャベツ残渣をはじめとする
食材廃棄部分のアップサイクルを
実現するべく、研究開発を進めています。

環境負荷低減への取り組み

脱炭素社会の実現へ。自然冷媒の
冷凍冷蔵設備、太陽光パネルの設置。
また、冷凍食品の容器包装におけるプラスチック
削減を進め、CO2排出量削減に努めています。

活躍し続けられる環境、更なる企業成長へ。

特定技能2号

イートアンドグループ内には、特定技能2号技能測定試験合格者24名在籍。
（食品分野試験では、自社合格率88%）
日本での在留期間上限なく就労可能、
新人事評価制度も制定。

定年を65歳へ引き上げ

定年を63歳から65歳へ引き上げ、
「68歳までの継続雇用制度」を導入。
継続雇用に関しても65歳から68歳に延長。
経験豊富な人材の引退を遅らせ、
若手社員を育成。組織全体のスキルアップに。

食品安全を担保するための取り組みにも力を入れ、ISO22000:2018、FSSC22000の認証を取得。

食の安心・安全を提供

JMAQA-F 045
JMAQA-FC506

MS
CM014

関東工場・関西工場・岡山工場

商品開発グループ/戦略企画グループ
R&Dグループ/外食品質管理グループを除く

FSSC 22000

関東工場・関西工場

5フリー（ファイブフリー）

長年、外食で培った
食材の魅力を引き出す
ノウハウを生かし、
素材の持つ本来の
美味しさを最大限に
活用するため、5フリー
（食品添加物としての
調味料・着色料・香料・
甘味料・発色剤に
頼らない商品づくり）を、
推進しています。

素材のチカラ
具材はすべて国産
食品添加物としての調味料、着色料、香料、甘味料、発色剤は使っていません

３．イートアンドグループの概要

イートアンドグループ

Eat& Holdings

Eat& Foods

冷凍食品の
製造販売

9 BLOCK

冷凍食品の
通信販売

Eat& INTERNATIONAL

海外における
直営店・FC本部運営

R Baker

カフェベーカリー業態の
直営店・FC本部運営
食材の卸・販売

大阪王将

中華業態の
直営店・FC本部運営
食材の卸・販売

横濱 一品香 CHINESE KITCHEN

中華・ラーメン業態の
直営店・FC本部運営

日常のあらゆる食シーンに、新しい食文化を創造する

「食のライフプランニングカンパニー」

食を通じて、

持続可能な社会の実現に貢献し、

＋＆の発想で、

ワクワクする未来を生み出し続けます。

サステナビリティ基本方針

Eat+&の幸せを次の世代へ。

「地球環境」「地域社会」「人とのつながり」を大切にし、
全てのステークホルダーの幸福につながる
持続可能な社会の実現を目指します。

7つの重点取組み

Environment 環境	Social 社会	Governance ガバナンス
食品ロス削減	地域との共生	理念の浸透
温室効果ガス削減	ダイバーシティ	グループ経営
	健康経営	

社名	➢	株式会社 イートアンドホールディングス
英文社名	➢	EAT&HOLDINGS Co.,Ltd
東京ヘッドオフィス	➢	東京都品川区東品川4-12-8　品川シーサイドイーストタワー15階
大阪オフィス	➢	大阪市淀川区宮原3-3-34 新大阪DOIビル3F
設立年月	➢	1977年8月
業種	➢	飲食店経営および食品製造・販売
代表者	➢	代表取締役会長　文野　直樹 代表取締役社長　仲田　浩康
資本金	➢	31億73百万円（2025年2月末現在）
発行済株式総数	➢	11,344,970株（2025年2月末現在）
決算期	➢	2月末日
店舗数	➢	469店舗（2025年2月末現在）
従業員数	➢	1,792名（2025年2月末現在）

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。投資に関する決定は、閲覧者ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

株式会社イートアンドホールディングス
経営管理本部
経営戦略部